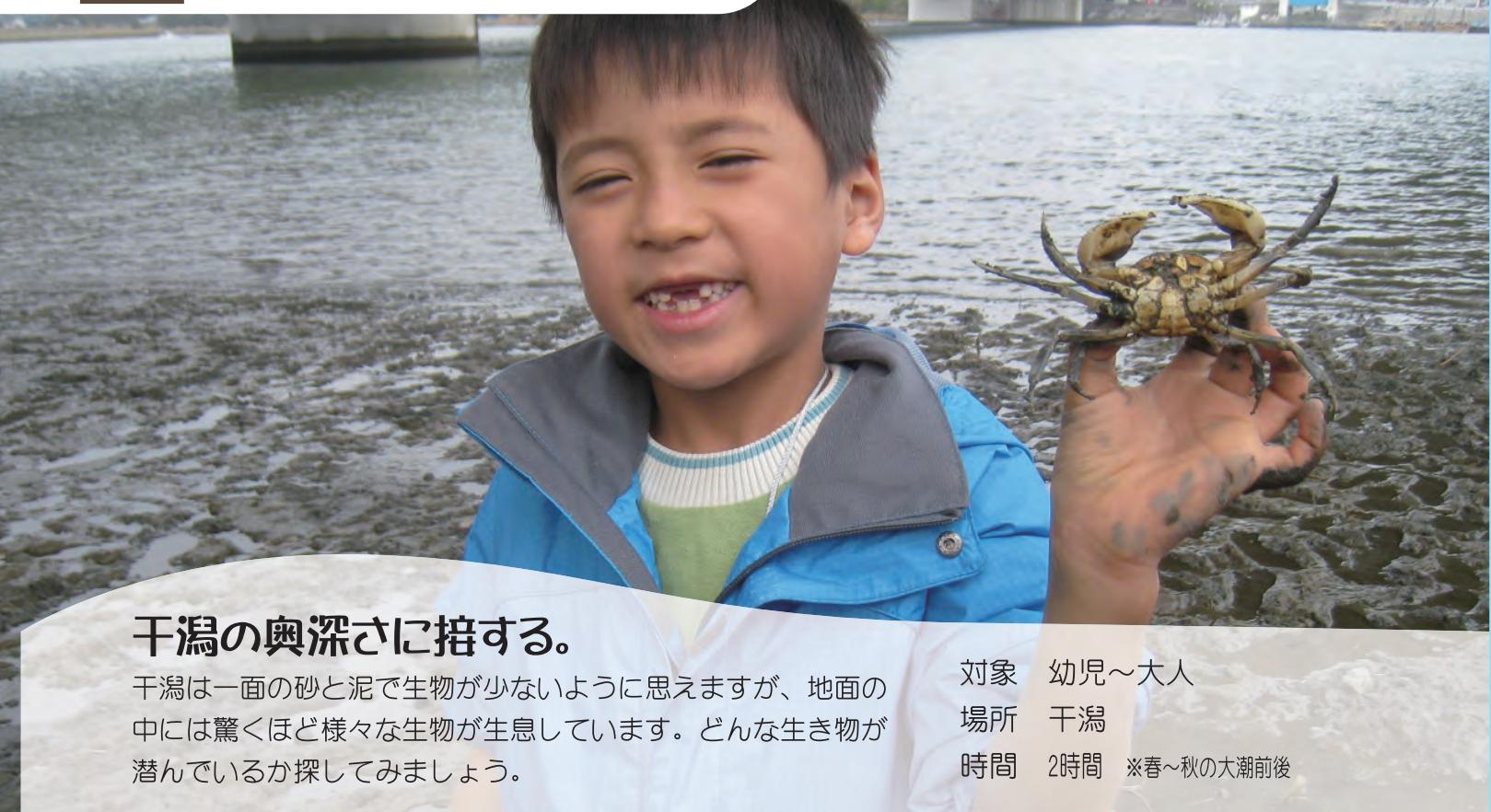




# 干潟の観察会



## 干潟の奥深さに 接する。

干潟は一面の砂と泥で生物が少ないように思えますが、地面の中には驚くほど様々な生物が生息しています。どんな生き物が潜んでいるか探してみましょう。

対象 幼児～大人  
場所 干潟  
時間 2時間 ※春～秋の大潮前後

## 2024年の前に…

### 1. 用意するもの

- |                                           |           |
|-------------------------------------------|-----------|
| ①軍手                                       | ④ふるい      |
| ②チャック付きポリ袋<br>参加者一名につき2枚分                 | ⑤プラケース    |
| ③移植ごて                                     | ⑥クーラーボックス |
| ※その他に着替え・帽子・タオル・日焼け止めなど活動のしやすい服装や道具を用意する。 |           |
| ⑦干潟の生物図鑑                                  |           |



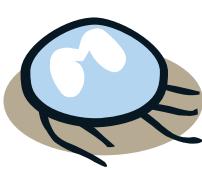
### 2. 事前の準備

#### 危険を予測しよう

- ・アカエイ、アカクラゲが干潟に取り残されている場合があります。
- ・落ちている危険物には触れない。



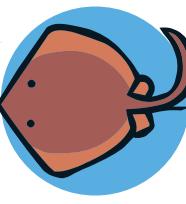
注射器



死んだクラゲも毒針が！



ガラス



アカエイ



カキやフジツボなどの付着生物にも注意が必要



# アラムの本番！

## 1. 参加者にルールを伝えよう！(約10分)

参加者がそろい挨拶を済ませたら、干潟の環境について興味を引けるように紹介をしましょう。その後、実施範囲と危険物について共有しましょう。



## 2. 干潟の生物探し(約60分)

### ①砂の上の生物探し

まずは干潟を歩きながら表面にいる生物を探します。参加者は見つけた生物をチャック付きポリ袋に入れて集めます。スタッフは安全管理と、参加者へ見つけ方のコツを伝えましょう。20分ほど探したら一度集合し、生物を袋ごとクーラーボックスにしまいましょう。



### ②砂の中の生物探し

次に砂の中の生物を探します。参加者に移植ごてを渡し、堀って見つけた生物を新しいチャック付きポリ袋に入れ集めます。ふるいを使って砂をより分けると小さな生物も見つかります。スタッフは安全管理と、参加者への見つけ方のコツを伝えましょう。



## 3. フリカエリ(約50分)

### ①どんな生物が見つかった？

参加者が集まったら、砂の表面や中にいた生物をそれぞれプラケースに入れて展示していきましょう。

見た目など似たもの同士を比べながら並べていくと様々な生物がいたことが分かります。

並べ終わったら、図鑑などを参考に何種類の生物が見つかったのか調べながら観察しましょう。



### ②干潟の環境について考えよう

観察が終わるころには干潟の潮位が変わっているはずです。干満の様子を見ながら、見つけた生物が棲んでいる干潟の環境の特徴について解説しましょう。

最後に、捕まえた生物を干潟に戻しながら、様々な生物が暮らす干潟について考えてみてください。



### ココがポイント

#### 干潟環境の多様さに気づこう

一面同じように見える干潟も、砂の柔らかさ、泥の割合、淡水の流入などによって環境の変化が豊かです。一か所で探すのではなく様々な環境を歩きながら探すとより多くの生物に出会えるでしょう。



#### 砂の中の生物探しのコツ

- ・干潟の表面を見ると足跡や小さな穴など様々な痕跡が見つかります。下に生物がいるかもしれない掘ってみましょう。
- ・砂の中の生物は振動に敏感で、堀り始めると砂の奥へと逃げてしまいます。逃げる前に素早く掘り進めましょう。

